

ELECOM

DVI 対応パソコン切替器(PS/2)

KVM-DVP2 KVM-DVP4

ユーザズマニュアル

この度は、エレコム の DVI 対応 PS/2 パソコン切替器 “KVM-DVP シリーズ” をお買い上げいただき誠にありがとうございます。“KVM-DVP2” は 2 台まで、“KVM-DVP4” は 4 台までのパソコンを 1 台のディスプレイ / キーボード / マウスで操作できるパソコン切替器です。DVI 端子対応のディスプレイ (ビデオ) 出力を持つパソコンおよびディスプレイに対応しています。マウスおよびキーボードについては PS/2 インターフェイスで接続できます。このマニュアルでは “KVM-DVP シリーズ” の使用方法および安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずこのマニュアルをお読みください。なお、このマニュアルでは一部の表記を除いて “KVM-DVP シリーズ” を「本製品」と表記しています。また、このマニュアルはお読みになったあと大切に保管しておいてください。

本製品には以下のような特長があります。

- 複数のパソコンを 1 台のディスプレイ / キーボード / マウス / ヘッドセット (またはマイクとスピーカ) を使って操作できます。
- DVI 対応なので高精細度のビデオ出力とディスプレイ入力に対応します。
- DVI 端子は DVI-I 対応なのでデジタル信号の DVI-D 規格だけでなくアナログ信号の DVI-A 規格でも使用できます。
- 最大解像度はデジタル信号では 1600 × 1200 ドット 60Hz (DDC2B) に対応、アナログ信号では 1920 × 1440 ドット 60Hz (DDC2B) に対応しています。
- マウス、キーボードは PS/2 インターフェイスに対応しています。
- マイク、スピーカなどの音声機器の入出力を切り替えることができます。
- ドライバ不要の簡単接続。切り替えは本体上のボタンおよびホットキーに対応しています。
- ホットキーで切り替える場合、「コンソール (ディスプレイ / キーボード / マウス)」 「音声機器」を別のパソコンで使用できます。例えば、パソコン A で音楽を再生しながら、コンソールでパソコン B を操作することができます。
- Microsoft IntelliMouse 互換マウスに対応しホイール機能が使用できます。
- [Caps Lock]、[Num Lock]、[Scroll Lock] キーはパソコンを切り替えても、各キーの ON/OFF は保持されます。

Tips **ホットキーとは**
特定の組み合わせのキーを押すことで、決まった処理を実行することができる便利な機能です。プログラムをメニューから実行したり、機器のボタンを押す必要がなく、キーボードから直接操作ができます。例えば、本製品では [Shift] キーを押しながら [Scroll Lock] キーを 2 回押し、そのあと [Enter] キーを押すことで次のパソコンに切り替えることができます。

本製品を使用するための手順フロー

パッケージ内容と注意事項を確認しましょう
C 面の「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
パソコンや接続する各機器の電源が切れていることを確認しましょう
・各パソコンの電源が切れていることを確認します。 ・本製品に接続するその他の機器の電源も切れていることを確認します。
本製品にコンソール機器とパソコン、スピーカなどを接続しましょう
・コンソール機器 (ディスプレイ、キーボード、マウス) の各ケーブルを本製品に接続します。付属の接続ケーブルなどを使って本製品と各パソコンを接続します。 必要に応じてアンプ内蔵スピーカやマイクなどを接続します。 ・最後にパソコンの電源ケーブルと本製品の AC アダプタを接続します。
各機器の電源を入れて使ってみましょう
・各パソコンおよびコンソール機器、アンプ内蔵スピーカなどの電源を入れます。 ・本製品の CPU セレクトボタンまたはホットキーを押して切り替えます。

本書の著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
・本書の内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
・本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡願います。
・本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
・実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
・本製品のうち、電磁物質または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
・Microsoft®、Windows® は、米国 Microsoft 社の登録商標です。その他本書に掲載されている商品名 / 社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。

DVI 対応パソコン切替器 (PS/2) KVM-DVP2 KVM-DVP4
ユーザズマニュアル 2005 年 4 月 11 日 第 1 版 ELECOM 株式会社
©2005 ELECOM Co.,LTD. All rights reserved.

1 はじめに

※ DVI コネクタのピン数の表記は参考値です。

パッケージの内容を確認しましょう

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確かめてください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不用品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店へご連絡ください。

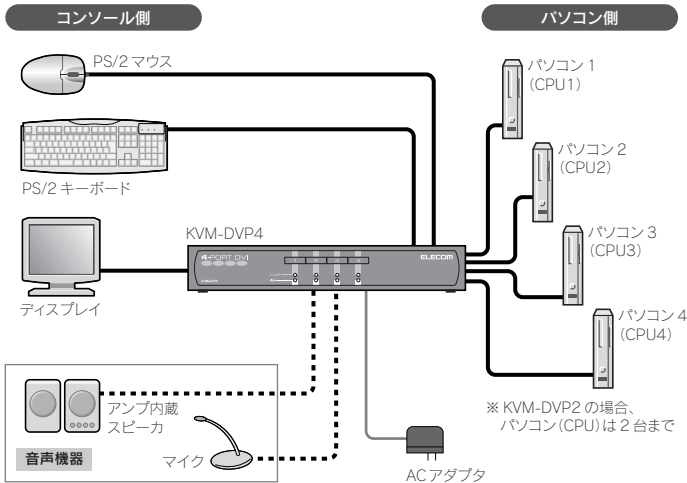
☐ DVI 対応パソコン切替器 (PS/2)	“KVM-DVP2” または “KVM-DVP4”	1 個
☐ パソコン接続ケーブル	KVM-DVP2 の場合	2 本
	KVM-DVP4 の場合	4 本
☐ ユーザーズマニュアル (このマニュアルです)		1 式
☐ AC アダプタ		1 個
☐ 製品保証書 (このマニュアル上にあります)		1 枚

本製品について

■こんなことができます

本製品は 1 組のコンソール (ディスプレイ / キーボード / マウス) で複数のパソコンを切り替えて使用するための機器です。パソコンが複数あっても 1 組のディスプレイやキーボード、マウスしか必要ありませんので省スペース、ローコストを実現できます。さらに本製品には以下のような機能があります。

・マイクやアンプ内蔵スピーカを接続することで、マイク入力とスピーカをパソコン間で切り替えて使えます。



- CPU セレクトボタン (本製品前面) またはホットキーを使用すると
・「コンソール」 「音声機器」を同じパソコンに切り替えることができます。
・「コンソール」と 「音声機器」を別々のパソコンに接続できます。例えばコンソールはパソコン 1 に、音声機器はパソコン 2 に接続できます。

本製品を使用するために必要なシステム構成

本製品を使用するためのシステム条件は以下のとおりです。なお、パソコンに直接接続したときに動作しない機器はご使用になれません。

■コンソール用機器 (ディスプレイ、キーボード、マウス)

●ディスプレイ × 1 台

DVI 対応の DVI-D (24 ピン: シングルリンク) または DVI-I (29 ピン) および DVI-A (29 ピン)、D-Sub 15 ピン (ミニ) コネクタのいずれかを装備し、VGA 以上の解像度を持つマルチシンク対応のディスプレイが必要です。付属の接続ケーブルは DVI-D (24 ピン) 対応です。また、以下の制限事項があります。

アナログおよびデジタル接続共通の制限事項

- ・接続するディスプレイカードの出力信号、ディスプレイの感度、ケーブルの品質によっては、画質が劣化または表示できない場合があります。
- ・WVGA モードでの表示には対応しません。

アナログ接続での制限事項

- ・DVI-I または DVI-A (29 ピン)、D-Sub 15 ピン (ミニ) 対応のディスプレイ以外には対応しません。
- ・D-Sub 15 ピン (ミニ) でご使用になる場合は、別途、付属のケーブルの代わりに DVI-I または DVI-A (29 ピン) → D-Sub 15 ピン (ミニ) のディスプレイケーブルをご用意ください。

デジタル接続での制限事項

- ・デジタルディスプレイは DDWG1.0 規格で定められた DVI-D (シングルリンク) 規格適合ディスプレイを使用してください。それ以外のディスプレイでは使用できません。
- ・DVI-D (24 ピン: シングルリンク) または DVI-I (29 ピン) 対応のディスプレイ以外には対応しません。
- ・本製品はシングルリンク専用です。
- ・本製品に接続するケーブルは PC - 本製品間で 2m 以内、本製品 - ディスプレイ間で 5m 以内を目安としてください。

●PS/2 キーボード × 1 台

- 106/109 日本語キーボードをご用意ください。以下のキーボードについては動作保証外です。
- ・106/109 日本語キーボード以外のキーボードを使用している場合 (89 キーなどキー数が少ないコンパクトキーボードでは正常に動作しない場合があります)
- ・Windows 標準以外のキーボードドライバを使用している場合
- ・特定のハードウェアおよびアプリケーションに依存するキーおよび機能を持つキーボードを使用している場合

●PS/2 マウス × 1 台

- Microsoft IntelliMouse 互換のホイール付きマウスに対応します。以下のマウスについては動作保証外です。
- ・Microsoft IntelliMouse と互換性のないマウスを使用している場合 (チルトホイールマウスや 5 ボタンマウスなどの多機能マウスは正常に動作しない場合があります)
- ・Windows 標準以外のマウスドライバを使用している場合

■パソコン

- Windows XP/Me/2000/98SE/98 を使用し、以下のインターフェイスを標準で装備する PC/AT 互換機※
- ・DVI 対応の DVI-D (24 ピン) または DVI-I および DVI-A 対応の DVI (29 ピン)、D-Sub 15 ピン (ミニ) コネクタのいずれかを装備し、VGA 以上の解像度を持つディスプレイ (ビデオ) 出力が可能なこと
- ・PS/2 キーボード、PS/2 マウスが接続できる PS/2 ポートを装備
- ・3.5 φ ステレオミニプラグ対応のライン出力およびマイク入力 (音声を再生 / 入力する場合に必要)

※ NEC PC98-NX シリーズ、自作機、拡張ボードを増設したパソコン、標準搭載以外の OS に変更したパソコンはサポート対象外とさせていただきます。NEC PC-9821/PC-9800 シリーズは非対応です。

■必要に応じて用意するもの

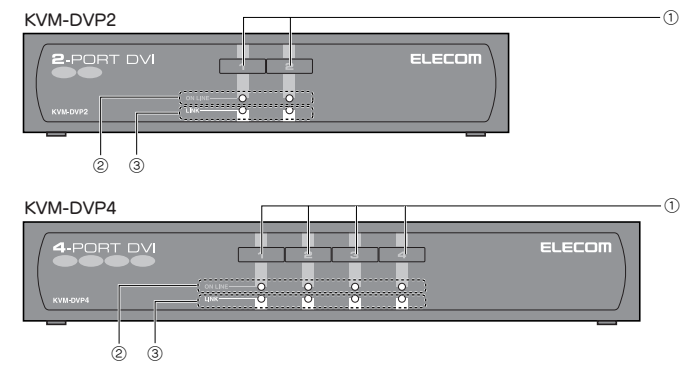
- ・アンプ内蔵スピーカ × 1 セット、マイクまたはヘッドセット (音声の再生や入力に必要)

基本仕様

製品型番	KVM-DVP2	KVM-DVP4
最大 PC 接続台数	2 台	4 台
対応 OS	Windows XP / Me / 2000 / 98SE / 98	
切替方法	プッシュスイッチまたはホットキー ([Shift] を押しながら [Scroll Lock] を 2 回押すから選択)	
インターフェイス (パソコン接続側)	DVI (29 ピン) コネクタ (DVI-I 対応) 1 個 × 2 ポート (全ポート合計 2 個)、3.5 φ ステレオミニプラグ 1 個 × 2 ポート (全ポート合計 2 個)、3.5 φ ミニプラグ 1 個 × 2 ポート (全ポート合計 2 個)、PS/2 コネクタ (miniDIN6 ピン) 2 個 × 2 ポート (全ポート合計 4 個)	DVI (29 ピン) コネクタ (DVI-I 対応) 1 個 × 4 ポート (全ポート合計 4 個)、3.5 φ ステレオミニプラグ 1 個 × 4 ポート (全ポート合計 4 個)、3.5 φ ミニプラグ 1 個 × 4 ポート (全ポート合計 4 個)、PS/2 コネクタ (miniDIN6 ピン) 2 個 × 4 ポート (全ポート合計 8 個)
インターフェイス (コンソール側)	DVI (29 ピン) コネクタ (DVI-I 対応) 1 個、3.5 φ ステレオミニプラグ 1 個、3.5 φ ミニプラグ 1 個、PS/2 コネクタ (miniDIN6 ピン) 2 個	
温度	動作目安温度: 0 ~ 50℃ 保存目安温度: -20 ~ 60℃	
湿度	動作・保存目安湿度: 0 ~ 80%RH (結露なきこと)	
消費電力	3.2W	6.5W
製品寸法 / 本体質量	W207 × D74.32 × H42.2mm/756g	W263 × D74.32 × H42.2mm/956g
梱包品	製品本体、パソコン接続ケーブル × 2 本、AC アダプタ、マニュアル (保証書付)	製品本体、パソコン接続ケーブル × 4 本、AC アダプタ、マニュアル (保証書付)

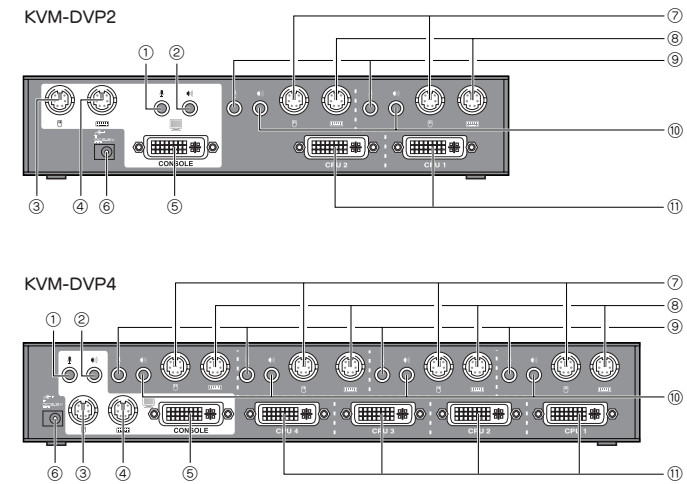
各部の名称とはたらき

■正面



①	CPU セレクトボタン	このボタンを押すことでコンソールが使用するパソコンを切り替えたり、音声機器を使用するパソコンを切り替えることができます。ボタンの番号は背面の CPU 番号に対応しています。操作方法についてはうら面の「CPU セレクトボタンを使う」をお読みください。
②	[ON LINE] ランプ	点灯時はパソコンが起動している状態またはパソコンは起動していないが主電源が入った状態です。消灯時は接続されたパソコンの主電源が切れているか、パソコン自体が本製品に接続されていません。
③	[LINK] ランプ	選択状態にあるポートが点灯します。オートスキャン・モードのときは選択状態にあるポートが点滅します。

■背面



①	マイク入力用ジャック (コンソール)	マイクを使用する場合にマイク端子 (3.5 φ ミニプラグ) を接続します。ヘッドセットを接続することもできます。
②	音声ライン用ジャック (コンソール)	スピーカを使用する場合にアンプ内蔵スピーカのライン端子 (3.5 φ ステレオミニプラグ) を接続します。ヘッドセットを接続することもできます。
③	PS/2 マウスポート (コンソール)	コンソール側の PS/2 マウスを接続します。本製品側のコネクタは mini DIN6 ピン (メス) です。
④	PS/2 キーボードポート (コンソール)	コンソール側の PS/2 キーボードを接続します。本製品側のコネクタは miniDIN6 ピン (メス) です。
⑤	ディスプレイポート (コンソール)	コンソール側のディスプレイ (ビデオ) 出力からのコネクタを接続します。本製品が対応するディスプレイケーブルを使用してください。
⑥	電源ジャック	本製品に電源を供給するために付属の AC アダプタのプラグを差し込みます。本製品に付属以外の AC アダプタは使用しないでください。
⑦	PS/2 マウスポート (CPU)	付属の接続ケーブルの PS/2 マウス用コネクタ [緑] を接続します。
⑧	PS/2 キーボードポート (CPU)	付属の接続ケーブルの PS/2 キーボード用コネクタ [紫] を接続します。
⑨	マイク出力用ジャック (CPU)	付属の接続ケーブルのマイク入力用プラグ [ピンク] を接続します。
⑩	音声ライン用ジャック (CPU)	付属の接続ケーブルの音声ライン用プラグ [黄緑] を接続します。
⑪	ディスプレイポート (CPU)	付属の接続ケーブルのディスプレイコネクタを接続します。D-Sub 15 ピン変換ケーブルなどを別途ご用意いただく場合は、本製品が対応するディスプレイコネクタを使用してください。

2 接続しましょう

接続作業を始める前に

●各パソコンとディスプレイなどのコンソール機器を直接つないで動作確認をしておいてください

各パソコン側のディスプレイ出力が使用するディスプレイに対応する解像度に設定されているか、正常に表示できるかを確認しておいてください。その他、使用する PS/2 マウス、PS/2 キーボード、音声機器が正常に動作することを確認しておいてください。

本製品と機器を接続する

接続図を参考にして以下の手順で各機器を接続してください。

1. すべての機器の電源が切れていることを確認します。

2. ディスプレイ、PS/2 キーボード、PS/2 マウスを本製品の背面にある [CONSOLE] の各ポートに接続します。

キーボードとマウスのポートは同じ形状ですので、色やアイコンを参考にして正しく接続してください。

3. 必要に応じて、マイクやスピーカなどの音声機器を本製品の背面にある [CONSOLE] の各ジャックに接続します。

マイクとライン(スピーカ等)のプラグは、色やアイコンを参考にして正しく接続してください。

4. 付属の接続ケーブルの両端は、分岐したケーブルの長さの違いがあります。分岐したマウスコネクタ **緑** のケーブルが短い方を本製品側に接続します。各コネクタは本製品の背面にある CPU1 の各ジャック、ポートに接続します。

ディスプレイコネクタ以外のコネクタはコネクタの色やアイコンを参考にして正しく接続してください。

5. 接続ケーブルのもう一方のコネクタをパソコン本体の各ジャック、ポートに接続します。

ディスプレイコネクタ以外のコネクタはコネクタの色やアイコンを参考にして正しく接続してください。

6. 本製品に付属の AC アダプタを背面にある電源ジャックに接続し、AC アダプタ本体を AC コンセントに差し込みます。

7. コンソール側のディスプレイおよび各パソコン、その他の機器の電源を入れると本製品を使用できるようになります。

3 使ってみましょう

CPU セレクトボタンを使う

本製品の前面にある CPU セレクトボタンを使って、コンソール(ディスプレイ / キーボード / マウス)、音声機器(マイク入力+音声ライン出力)を使用するパソコンを切り替えます。

任意のパソコンに切り替える

CPU セレクトボタンを使用する場合、コンソール(ディスプレイ / キーボード / マウス)、音声機器(マイク入力+ライン出力)を同じパソコンに切り替えるか、コンソールから操作するパソコンだけを切り替える方法があります。なお、CPU セレクトボタンはそれぞれランプ表示にある CPU 番号 **1** (背面の CPU1)、**2** (CPU2)、**3** (CPU3)、**4** (CPU4) に対応しています。

※ KVM-DVP2 に **3** **4** はありません。

●コンソール・音声機器を同じパソコンに切り替える場合

使用したいパソコンを接続した CPU 番号に対応する CPU セレクトボタンを 2 秒以上押し続けます。ピッと音が鳴り、選択した CPU 番号の [LINK] ランプが明るく点灯します。

●コンソールから操作するパソコンだけを切り替える場合

使用したいパソコンを接続した CPU 番号に対応する CPU セレクトボタンを押してすぐに離します。ピッと音が鳴り、選択した CPU 番号の [LINK] ランプが明るく点灯します。

※音声機器は直前まで選択されていたパソコンに接続したままの状態になります。

オートスキャン・モードを使用する

コンソール(ディスプレイ / キーボード / マウス)から操作するパソコンを 5 秒間隔で自動的に切り替えます。音声機器についてはそのままで切り替わりません。

●オートスキャン・モードの設定方法

CPU セレクトボタンの **1** と **2** を同時に 3 秒以上押してピッと音が鳴ると、オートスキャン・モードに切り替わります。選択中のパソコンの [LINK] ランプが点滅します。5 秒間隔で次のパソコンに切り替わります。

音声機器は、オートスキャン・モードを実行する直前に選択していたパソコンに接続されたままの状態です。

●オートスキャン・モードを中止するには

中止後に選択したいパソコンの CPU セレクトボタンを押すと、オートスキャン・モードが終了します。2 秒以上ボタンを押すと、音声機器も同時に切り替わります。

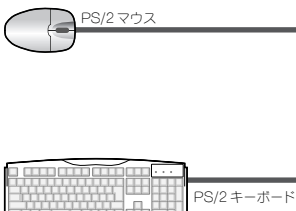
接続図

音声機器

ヘッドセットを接続することもできます。



コンソール機器



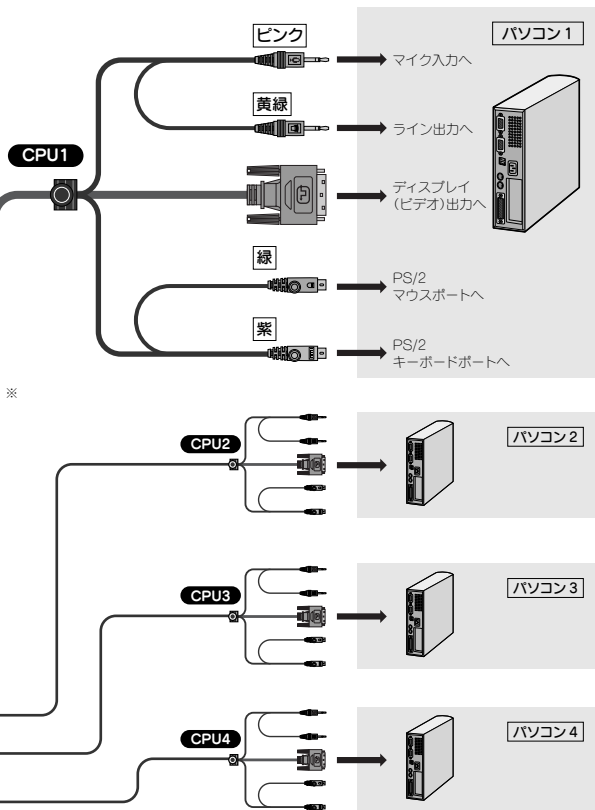
図で使用している本体は KVM-DVP4 です。KVM-DVP2 の場合、接続できるパソコンが 2 台まで (CPU1 と CPU2) になる以外は接続方法、手順とも同じです。

注意 アナログ信号とデジタル信号を混在することはできません。
本製品に付属のケーブルはデジタル信号専用 [DVI-D (24 ピン) ⇄ DVI-I (24 ピン)] です。

A 3.5 φ ステレオミニプラグ **B** 3.5 φ ミニプラグ **C** DVI-D (24 ピン)、DVI-I (29 ピン)、DVI-A (29 ピン) のいずれか

※アナログ信号で接続するときは別途ケーブルをご用意ください。
PS/2 キーボード、PS/2 マウス、マイク、音声ライン入出力については付属の接続ケーブルを使用してもかまいません。

注意 接続作業を始める前に、本製品に接続するすべての機器の電源が切れていることを確認してください。



ホットキーを使う

キーボードのホットキーを押すことで、コンソール(ディスプレイ / キーボード / マウス)、音声機器で使用するパソコンを切り替えることができます。

任意のパソコンに切り替える

ホットキーを利用する場合、コンソール(ディスプレイ / キーボード / マウス)、音声機器(マイク入力+ライン出力)を自由に組み合わせて、別々のパソコンで使用できるように切り替えることができます。ここではおもなホットキーの利用方法を説明します。

●コンソール・音声機器を次のパソコンに切り替える場合

1 **[Shift]** キーを押しながら **[Scroll Lock]** キーを 2 回押します。

2 **[Shift]** キーを離します。

3 **[Enter]** キーを押すと、次の CPU 番号のパソコンに切り替わります。

※ KVM-DVP2 では CPU1 → CPU2 → CPU1…の順に切り替わります。

KVM-DVP4 では CPU1 → CPU2 → CPU3 → CPU4 → CPU1…の順に切り替わります。

●コンソール・音声機器のどちらかだけを次のパソコンに切り替える場合

1 **[Shift]** キーを押しながら **[Scroll Lock]** キーを 2 回押します。

2 **[Shift]** キーを離します。

3 コンソール・音声機器の中から選択したいものを指定します。

コンソール → **[K]**、音声機器 → **[S]**

4 **[Enter]** キーを押すと、選択した機能だけが次の CPU 番号に切り替わります。

●コンソール・音声機器の両方を指定した CPU 番号のパソコンに切り替える場合 (KVM-DVP4 のみ)

1 **[Shift]** キーを押しながら **[Scroll Lock]** キーを 2 回押します。

2 **[Shift]** キーを離します。

3 切り替えたい CPU 番号に対応する数字キーを押します。

CPU1 → **1** キー、CPU2 → **2** キー、CPU3 → **3** キー、CPU4 → **4** キー

4 **[Enter]** キーを押すと、指定した CPU 番号のパソコンに切り替わります。

●コンソール・音声機器のどちらかだけを指定したパソコンに切り替える場合 (KVM-DVP4 のみ)

1 **[Shift]** キーを押しながら **[Scroll Lock]** キーを 2 回押します。

2 **[Shift]** キーを離します。

3 切り替えたい CPU 番号に対応する数字キーを押します。

CPU1 → **1** キー、CPU2 → **2** キー、CPU3 → **3** キー、CPU4 → **4** キー

4 コンソール・音声機器どちらの機能を指定したパソコンに切り替えるか指定します。

コンソール → **[K]**、音声機器 → **[S]**

5 **[Enter]** キーを押すと、選択した機能だけが指定した CPU 番号のパソコンに切り替わります。

注意 キーを押す順序について

KVM-DVP4 の場合は、必ず CPU を指定するキー (**1** ~ **4**) を押してください。

Tips ビープ音のオン / オフ

操作時のピッと音を消すことができます。**1** **[Shift]** キーを押しながら **[Scroll Lock]** キーを 2 回押します。**2** **[Shift]** キーを離します。**3** **[B]** キーを押します。**4** **[Enter]** キーを押します。これでオンのときはオフに、オフのときはオンに変更できます。

オートスキャン・モードを使う

コンソール(ディスプレイ / キーボード / マウス)から操作するパソコンを一定間隔で自動的に切り替えます。音声機器についてはそのままで切り替わりません。オートスキャンの間隔は 3 秒間隔から 20 秒間隔まで 4 段階の中から選択できます。

●オートスキャン・モードを開始する

1 **[Shift]** キーを押しながら **[Scroll Lock]** キーを 2 回押します。

2 **[Shift]** キーを離します。

3 **[A]** キーを押します。

4 **[Enter]** キーを押すと、オートスキャン・モードを開始します。

このときのスキャン間隔は前回設定した間隔 (初期値 = [2] で 5 秒間隔) です。

5 **1** ~ **4** の数字キーを押すとスキャン間隔を設定できます。

1 → 3 秒間隔 **2** → 5 秒間隔 **3** → 10 秒間隔 **4** → 20 秒間隔

オートスキャン中は **1** ~ **4** を押すといつでもスキャン間隔を変更できます。

●オートスキャン・モードを終了する

[Esc] または **[スペース]** キーを押します。キーを押した時点の CPU が選択されます。

注意 オートスキャン中の操作について

オートスキャン中は **[スペース]** および **[Esc]** キー、**1** ~ **4** キー以外のキー入力およびマウス操作は受け付けません。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

	警 告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
	注 意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

■絵表示の意味

-  ①記号は「してはいけない」ことを示します。
-  ②記号は「しなければならない」ことを示します。

警 告

-  本製品が発熱している、煙がでている、へんな臭いがしているなどの異常があるときは、直ちに使用を中止したうえで、ACアダプタをACコンセントから抜き、すべてのケーブルを取り外してください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

-  本製品および付属品の分解、改造、修理をご自分でしないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

-  パソコン接続ケーブルは本製品に付属のものか、本製品の仕様に対応したものをお使いください。間違えて使用すると、機器の故障、火災や感電の原因になります。

-  本製品を落としたり、ぶつかけたりしないでください。万一、本製品が破損した場合は、直ちに使用を中止したうえで、ACアダプタをACコンセントから抜き、すべてのケーブルを取り外してください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。

-  ACアダプタは必ず専用ACアダプタをお使いください。ほかのACアダプタを使用すると本製品および接続した機器の故障の原因になります。

-  本製品に水や金属片などの異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで、ACアダプタをACコンセントから抜き、すべてのケーブルを取りはずしてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

-  本製品を火中に投入しないでください。破裂により火災やけがの原因になります。

-  本製品に接続したケーブルをぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。

注 意

-  本製品にパソコンおよび周辺機器を接続するときは、必ずパソコン本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。

-  本製品は次のようなところには置かないでください。
・日のある自動車内、直射日光のあたるところ、暖房器具の周辺など高温になるところ
・多湿なところ、結露をおこすところ　　・平坦でないところ、振動が発生するところ
・マグネットの近くなどの磁場が発生するところ　　・ほこりの多いところ

-  本製品にケーブルを接続するときは、コネクタの向きを間違えないように接続してください。無理に押し込むと、本製品が故障したり、けがををする恐れがあります。

-  本製品は防水構造ではありませんので、水などの液体がかからないところで使用または保存してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

-  長期間、本製品を使用しないときは、ACアダプタをACコンセントから抜いておいてください。故障の原因になります。

本製品を使用するにあたってのご注意

- ・デジタル信号とアナログ信号が混在した環境では使用できません。
・パソコンに直接接続しても正常動作しないコンソール機器、周辺機器がある場合、本製品は正常に動作しません。
・使用するケーブルによっては隣接するコネクタにぶつかる場合があります。本製品のコネクタの間隔は約5mmです。
・ADC(Apple Display Connector)には対応しておりません。
・接続するディスプレイの種類によっては明るさが少し落ちる場合があります。
・画質の劣化はケーブル長や解像度に影響されます。ケーブルが長ければ長いほど、高解像で使用すればするほど画質劣化の度合いが高くなります。
・本製品の動作環境において、すべての機器について動作保証するものではありません。
・変換コネクタや延長ケーブルを使用して機器(マウス・キーボード・ディスプレイ)を接続した場合は、信号が減衰し正常に動作しない場合があります。
・切り替えた後、マウス・キーボードが使用できるようになるまで多少時間がかかります。
・マニュアルに記載されたDVIコネクタのピン数は参考値です。
・本製品は、一般家庭および一般オフィスでの使用を前提に設計されています。
・本製品は日本国内専用です。

ユーザーサポートについて

本製品のマニュアルは保証書を兼用しています。保証内容をお確かめの上大切に保管してください。本製品のご使用中に何らかのトラブルが起きたとき、または操作方法や使いかたがわからないときは、お問い合わせいただく前に、いま一度この「ユーザーズマニュアル」またはELECOMホームページの「FAQ」をご確認ください。「FAQ」にはお客様からよくある質問とその回答をまとめてあります。それでも解決しない場合は、エレコム総合インフォメーションセンターにご連絡ください。

- エレコムホームページ <http://www.elecom.co.jp>

商品に関するお問い合わせは	●エレコム総合インフォメーションセンター TEL. 0570-084-465 FAX. 0570-050-012	受付時間 9:00~12:00 年中無休 13:00~18:00

保証規定

■保証内容
取扱説明書・本体添付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容に基づき無償修理いたします。

■無償保証範囲
製品が故障した場合、お客様は保証書に記載された保証期間内において、弊社に対し無償修理を依頼することができます。

ただし下記の場合、弊社は無償修理を承れません。

- (1) 保証書をご提示いただけない場合。
- (2) 保証書に販売店印ならびに購入年月日の記載がない場合。
- (3) 保証書が弊社から発行した保証書でない場合、または偽造・改変などが認められた場合。
- (4) 弊社より発行した保証書と認められない程に破損・汚れが付着している場合。
- (5) 故障した製品をお送り頂けない場合。
- (6) 弊社が動作を保証するとして指定した機器以外でご利用したために故障または破損した場合。
- (7) お客様の過失により本製品が故障または破損した場合。
- (8) 火災・水害など天変地変および静電気などの異常な電圧などの外的要因により故障または破損した場合。
- (9) 消耗部品の自然な消耗・劣化により故障した場合。
- (10) 輸送中の振動・落下により故障した場合。
- (11) 一般家庭用以外（例えば業務用）での使用による故障または破損した場合。
- (12) その他、弊社の判断に基づき、無償保証が認められない場合。

■修理
修理のご依頼時には製品をお買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターにご送付ください。

■免責事項
お客様がご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、損害賠償責任は購入金額を限度といたします。
弊社における保証は本製品の機能に関する保証のみに限ります。弊社瑕疵にもとづく本製品以外の責には応じません。
また記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

■有効範囲
本保証規定は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

保 証 書		
型 番	☐ KVM-DVP2 ☐ KVM-DVP4	該当する型番をチェック ☒ します。
販売店		
店名	住所	TEL
保証期間		お買い上げ年月日
1年		年 月 日
担当者名		

トラブルシューティング

- キーボードまたはマウスが反応しない
- キーボードまたはマウスのケーブルが正しく接続されているかを確認してください。
 - オートスキャン・モードになっているときは、**〔スペース〕**または**〔Esc〕**キーを押して、オートスキャン・モードを解除してください。
 - キーボードまたはマウスのケーブルをいったん抜いて、再度接続しなおしてください。
 - 特殊マウスをご使用の場合は、Microsoft IntelliMouse 互換のマウスに交換してみてください。
 - パソコンの電源をいったん切り、約5秒後に再度パソコンの電源を入れてキーボードまたはマウスの反応を確認してください。

- ディスプレイに何も表示されない
- 本製品およびパソコンのディスプレイ(ビデオ)出力、ディスプレイのディスプレイ(ビデオ入力)が対応しているコネクタが付いたケーブルを使用しているか確認してください。
 - ディスプレイケーブルが正しく接続されているかを確認してください。
 - アナログ信号とデジタル信号が混在していないか確認してください。混在環境では使用できません。本製品に付属のケーブルはデジタル信号専用[DVI-D(24ピン)⇄DVI-D(24ピン)]です。
 - CPUセレクトボタンを押して、他のパソコンに切り替えてみてください。
 - 解像度 / 周波数帯域の設定が正しいか確認してください。対応範囲外だと表示されません。ディスプレイが対応する解像度および水平周波数の設定値をいくつか試してみてください。
 - 本製品とディスプレイを接続するケーブルを交換してください。高品質のケーブルを使用することで、画像の問題が軽減される場合があります。

ホットキー 一覧

必要に応じて縮小コピーするなどしてご利用ください。

任意で接続を切り替える

〔Shift〕 + (**〔Scroll Lock〕** × 2)、
〔Enter〕

- コンソールと音声機器を次のCPU番号へ切り替える

① **〔Shift〕** を押しながら **〔Scroll Lock〕** を2回押す→ ② **〔Shift〕** 離す→ ③ **〔Enter〕** を押す

〔Shift〕 + (**〔Scroll Lock〕** × 2)、
(**〔K〕**・**〔S〕**)、**〔Enter〕**

- コンソール・音声機器のどちらかを次のパソコンに切り替える

① **〔Shift〕** を押しながら **〔Scroll Lock〕** を2回押す→ ② **〔Shift〕** 離す→ ③ 選択する機能のキー(CPUは**〔K〕**、音声機器は**〔S〕**)を押す→ ④ **〔Enter〕** を押す

KVM-DVP4のみの機能
〔Shift〕 + (**〔Scroll Lock〕** × 2)、
(**〔1〕**～**〔4〕**)、**〔Enter〕**

- コンソールと音声機器を指定した1台のパソコンへ切り替える

① **〔Shift〕** を押しながら **〔Scroll Lock〕** を2回押す→ ② **〔Shift〕** 離す→
③ 指定するCPU番号の数字キー(**〔1〕**～**〔4〕**)を押す→ ④ **〔Enter〕** を押す

KVM-DVP4のみの機能
〔Shift〕 + (**〔Scroll Lock〕** × 2)、
(**〔1〕**～**〔4〕**)、(**〔K〕**・**〔S〕**)、**〔Enter〕**

- コンソール・音声機器の中から選択して指定したパソコンへ切り替える

① **〔Shift〕** を押しながら **〔Scroll Lock〕** を2回押す→ ② **〔Shift〕** 離す→ ③ 指定するCPU番号の数字キー(**〔1〕**～**〔4〕**)を押す→ ④ 選択する機能のキー(CPUは**〔K〕**、音声機器は**〔S〕**)を押す→ ⑤ **〔Enter〕** を押す

オートスキャン・モードを使う

〔Shift〕 + (**〔Scroll Lock〕** × 2)、
〔A〕、**〔Enter〕**

- オートスキャン・モードを開始する

① **〔Shift〕** を押しながら **〔Scroll Lock〕** を2回押す→ ② **〔Shift〕** 離す→ ③ **〔A〕** を押す→
④ **〔Enter〕** を押す

〔Shift〕 + (**〔Scroll Lock〕** × 2)、
〔A〕、**〔Enter〕**、(**〔1〕**～**〔4〕**)

- 指定した間隔でオートスキャンを実行する

① **〔Shift〕** を押しながら **〔Scroll Lock〕** を2回押す→ ② **〔Shift〕** 離す→ ③ **〔A〕** を押す→
④ **〔Enter〕** を押す→ ⑤ 秒間隔の数字キー(**〔1〕**～**〔4〕** ※)を押す
※ **〔1〕**→3秒間隔 **〔2〕**→5秒間隔 **〔3〕**→10秒間隔 **〔4〕**→20秒間隔
オートスキャン中は **〔1〕**～**〔4〕** を押すことでスキャン間隔を変更可能

〔Esc〕 or (**〔スペース〕**)

- オートスキャン・モードの終了

〔ESC〕 または (**〔スペース〕**) を押す

ピープ音のオン・オフ

〔Shift〕 + (**〔Scroll Lock〕** × 2)、
〔B〕、**〔Enter〕**

- ピープ音をオンのときはオフに、オフのときはオンに切り替える

① **〔Shift〕** を押しながら **〔Scroll Lock〕** を2回押す→ ② **〔Shift〕** 離す→ ③ **〔B〕** を押す→
④ **〔Enter〕** を押す

MEMO